

# 日本摂理の教会組織図

メンバーの管理という観点から各教会のおおよその組織体系を以下に示す。

教祖に指名された教役者、教役者に指名された幹事およびキャンパスリーダーや部署使命者、そして一般メンバーという形のヒエラルキーのもとで、暗黙の内の信仰面と思考面における上層に対する服従がうかがえると言える。

## リーダー

教役者や牧会者とも呼ばれる教会の指導者。教祖の直接指名によって決まるらしい。教会に所属する各メンバーの教育と指導や相談にあたり、また教会運営の方針決定の中心者でもある。また礼拝などにおける説教者でもある。

## サブリーダー

教役者は各教会で、キリストとされる教祖の代理者といえる。そのためメンバー各人には教役者との関係性を強めることが信仰的にも望まれる。

教会部署においては顧問や監督の立場を取ることが多く、敬意を集める存在として新入生に紹介し伝道をすすめる目的も見られる。

リーダーとサブリーダーで異性を配置し男女両性の管理にバランスをとることが多い。

関西では週に一度、関西各教会のリーダーとサブリーダーと丁賢芽氏とが丁賢芽氏宅に集まって関西リーダーミーティングを開き、各教会の状況報告や今後の方向性や関西全体行事に関して話し合っているらしい。

## キャンパス幹事

社会人や信仰歴の長い学生がつき学生メンバーの教育や指導や相談にあたる。

## 社会人幹事

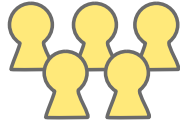


### 社会人メンバー

社会人のメンバーでチームをつくる。まとめ役として信仰歴が長く教育や指導できる人が幹事として立つ。

社会人のメンバーが多い場合は、いくつかのチームにわけて、社会人リーダーを立てることもある。

## キャンパスリーダー (CL)



### 学生メンバー

学生のメンバーでチームをつくり、リーダーを立てる。管理や伝道の効率化や仲間意識や競争意識を高める目的。キャンパスリーダーはチームで伝道した新入生の情報統括などの役割も担う。

教会が複数の大学においてメンバーを有する場合、各キャンパスにチームを作り、キャンパスリーダーを配ることが多い。また、それぞれのキャンパスに人数が多い場合もその中でいくつかのチームを分けることがある。

## 教会リーダーミーティング

週に一度、教会のリーダー、サブリーダー、社会人幹事とリーダー、キャンパス幹事とリーダー、教会部署部長、行事担当者などが集まる。教会の運営や伝道や新入生や予定行事などの状況や今後の方針などについて話し合う。その決定内容のもとで実質的な教会運営がなされる。

## 教会部署

新入生を伝道するためのサークル活動。運営のための使命者がメンバーから立てられる。サークルとしての運営やサークルに来た新入生の管理をする。サッカー・バレーボールなどのスポーツやゴスペル・ダンス・勉強会など文化活動やボランティア・NPOなど社会的活動まで、教会の方針や地域の需要やメンバーの技能にあわせて部署を設ける。メンバーはそれぞれの都合にあわせて新入生の伝道と自己の信仰の成長の機会として参加する。

## 教会担当

教会として使っている住居を維持し管理する役割。日中に時間のある学生が曜日交代などで担当することが多い。教会の掃除や食事の用意や、新入生の講義の予定などの管理などの仕事を中心的にする。学生など信仰歴の短いメンバーの信仰的成長や生活面での鍛錬が目的と考えられる。

## 教会使命

教会運営のための奉仕活動。信仰がしっかりとしてきたメンバーは、それぞれの都合や個性に応じて使命を受ける。使命活動を通しての信仰の成長や教会運営に対する参加意識の向上が目的と考えられる。代表的な使命は以下のよう

- ・総務：礼拝や行事のための場所取りや対外交渉、行事が円滑に進むための段取りや会場設営や警備などの仕事
  - ・渉外：教役者や他教会から来訪した指導者に対して食事の用意や身の回りの世話などの面で使える仕事
  - ・会計：献金や教会運営費を管理する仕事
  - ・文書：礼拝や行事などにおける説教をテープやMDなどに録音し管理する仕事
  - ・広報：行事などにおいてカメラやビデオカメラで写真や映像に残し記録として保管する仕事
  - ・聖歌隊：礼拝における特別賛美のときに歌を捧げる。また礼拝の準備において率先して賛美を導く仕事
- その他、必要に応じて使命者が立てられる。最近ではインターネット回線を用いて教祖からの説教を受けるので、ネット通信における使命もある。文章や広報の記録メディアは教会外持ち出し禁止。また使命者以外の録音や撮影も禁止されている。渉外や総務をはじめこれらの使命は教祖を迎える時に円滑に進められるようにするための訓練ともいえる。